



新潟県猟友会 三条支部長
わたなべ 英男さん

近年は人里への出没が増加

猟友会*の三条支部では、会員がクマの捕獲に当たる鳥獣被害対策実施隊員*として三条市から任命されており、私自身も長年隊員を務めています。

もともとクマは奥山に生息するのですが、近年は人里近い所で生まれ、行動する個体が増えたと実感しています。

また、春先に見かける子グマが割と大きいという話を他の地域でも聞いています。クマの生態も変化してきているのではないのでしょうか。近年のクマの生態の変化に応じた対策が求められています。

*猟友会 狩猟免許を持つ人が会員となって組織されている全国規模の団体です。近年、イノシシやシカ、クマといった野生動物による農作物被害や人身被害が深刻化してきている中、猟友会は自治体からの要請を受けて有害鳥獣の駆除活動を担っています。
*鳥獣被害対策実施隊員 有害鳥獣の捕獲、駆除、処分のほか、人的被害を及ぼす恐れがある場合の緊急出動などを任務としています。

クマに遭わないために 個人や地域でできる予防策

クマを寄せやすい環境を作らないことが、人の生活圏でのクマの出没を防ぎます。クマに遭わない行動を取るために、個人や地域でできることから取り組みましょう。

*地域の取り組みを補助する制度があります。



三条市鳥獣被害防止対策補助事業

ホームページ



1

やぶを刈り払う

野生動物は、人目につきにくい場所を利用して行動します。草刈りをして見通しをよくすることで、住宅地へのクマの出没を抑制する効果が期待できます。

*地域が行う整備を補助する制度があります。



2

エサとなるものを放置しない

放置した果樹や野菜くず、ミツバチの巣などは、クマを誘引します。放置せず、しっかり除去することが大切です。

*地域が行う不要果樹の伐採を補助する制度があります。



3

クマに遭遇するリスクを下げる

クマは、朝や夕方に活発に行動します。外出するときは、鈴やラジオなど、音の出るものを身に付け、クマにばったり遭遇することを避けることが大切です。

もしもクマと出会ってしまったら・・・



刺激しない

大声の威嚇や攻撃などは、クマが急な動きに驚いて反撃してくる恐れがあります。



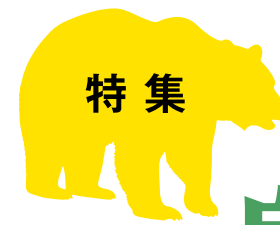
ゆっくり後ずさり

クマは逃げるものを追う習性があります。背を向けず、ゆっくり距離を取りましょう。



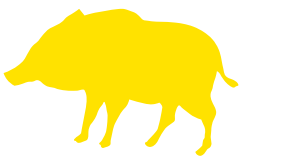
襲われたときの防御姿勢

致命傷を防ぐために、地面に伏せて、頭や首を両手で守ります。



特集

生活を守る 鳥獣被害対策



クマやサル、イノシシなどによる被害が全国で多発しています。令和7年度は、全国でクマによる人身被害者が相次ぎ、死亡者数は過去最多となりました。新潟県では「クマ出没特別警報」を発表、三条市においても住宅地などへのツキノワグマの出没情報の件数が過去最多クラスとなりました。

三条市では、人身事故の発生防止のため、関係する部署や機関との連携による対策を強化しています。

本特集では、被害を防ぐために、個人や地域ができることをお伝えします。

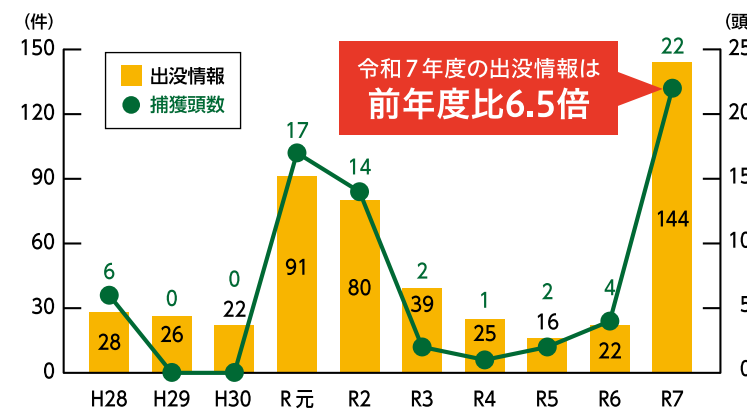
農林課 ☎34-5652

鳥獣被害対策



クマから生活を守る

ツキノワグマの出没情報と捕獲頭数(三条市)



出没情報(令和7年度 県別)

- 秋田県(13,592件)
- 岩手県(9,739件)
- 宮城県(3,559件)
- 新潟県(3,528件)**
- 青森県(3,334件)

環境省 クマ類の出没情報について (速報値)令和8年7月

今年度のクマ出没情報



ホームページ

最新のクマ出没情報(新潟県)



にいがたクマ出没マップ

令和7年度に実施したクマによる人身被害防止対策

子どもたちの安全対策の強化

小中学校の通学バスの運行範囲を広げ、運行期間を延長しました。



通学バスに乗り込む子どもたち

注意喚起と出没情報の周知

防災行政無線での放送、チラシの配布やメール配信などで注意を呼び掛けました。



パトロールの強化

鳥獣監視員、教職員、消防などによる巡回パトロールを実施しました。



消防車両によるパトロール

捕獲の強化

過去最多の22頭のツキノワグマを捕獲、駆除しました。



おりの設置